

平成 27 年度北陸新幹線鉄道に係る騒音・振動調査結果について

1 目的

本調査は、平成 27 年 3 月 14 日に北陸新幹線長野・金沢間が開業したことをうけ、環境省の委託事業として、県内沿線の騒音及び振動を測定し、環境基準等の達成状況を把握することを目的に実施したもの

2 調査の概要

(1) 調査期間

平成 27 年 9 月 1 日～9 月 30 日

(2) 調査地点（調査地点の概略図は別紙 1 参照）

I 類型（住居地域など）48 地点
II 類型（商業地域など）2 地点 } 計 50 地点

※各調査地点については、調査地点側（上下線どちらかの側）の軌道の中心から水平方向に 25m 離れた地点を設定

(3) 調査方法

- ・騒音については、「新幹線鉄道騒音に係る環境基準について（昭和 50 年 7 月 29 日環境庁告示第 46 号）」及び「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル（平成 22 年 5 月環境省）」により実施
- ・振動については、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（昭和 51 年 3 月 12 日環大特第 32 号）」により実施

3 調査結果の概要（調査地点毎の結果は別紙 2 参照）

(1) 騒音の調査結果の概要

地域 類型	主な用途	環境基準	調 査 地点数	環境基準 達 成 数	環境基準 達 成 率
I	住居地域など	70 デシベル以下 (騒々しい街頭と同程度)	48	26	54%
II	商業地域など	75 デシベル以下 (電車の車内と同程度)	2	2	100%
計			50	28	56%

(2) 振動の調査結果の概要

全調査地点で指針値（70 デシベル以下）を達成

4 今後の対応

- ①環境基準の達成状況を把握するため、沿線市町村と協力し、平成 28 年度以降も継続して騒音測定を実施
- ②環境基準達成のため、防音壁の嵩上げや吸音板の設置等の追加音源対策を講じるよう独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構及び西日本旅客鉄道株式会社へ要請
- ③沿線市町村や独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構等の関係者により構成した連絡会議を継続して開催し、情報共有・意見交換を実施